

(京都市防災会議・京都市国民保護協議会資料)

本市における レジリエント・シティの取組



2017. 12. 5

世界100レジリエント・シティ
京都市統括監 藤田裕之
hrfujita@city.kyoto.jp

「レジリエントシティ京都」のフェイスブックもご覧ください！
<https://www.facebook.com/100rckyo/>

「レジリエンス(Resilience)」の定義

- ・ 困難から素早く回復する能力, 強靱性
- ・ 物質や物体が跳ね返って, もともとの形になる能力, 弾性
- ・ 複雑かつ変化する環境下での組織的な適応力
- ・ 中断や阻害を引き起こすリスクを運用管理する組織の力

⇒近年,「持続可能性」と共に, 国際的に広く使われるようになりつつある言葉

レジリエンスと「レジリエント・シティ」

ポキッと折れてしまわない
「心」のしなやかな強さ,
打たれ強さ

物体の
復元力・回復力・弾力性

風水害や著しい環境の変化の中で, 生態系が維持・復元・復活する力

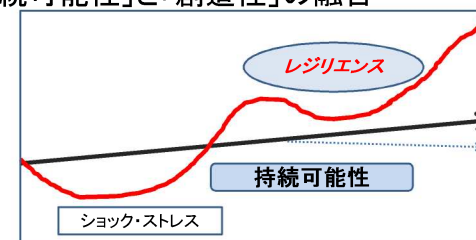
強靱(しなやかな強さ)

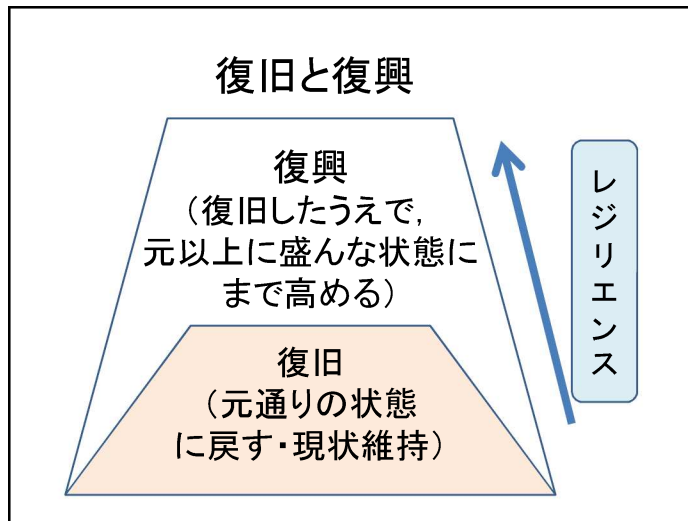
外的ショックにも内的ストレスにも, 粘り強く対処できる,
「持続可能」かつ「創造的」な組織や社会, 都市に適用

～レジリエント・シティ～

「持続可能性」と「レジリエンス」

- ・ あらゆる事象を「想定外」とせず, あらゆるダメージに対して, 粘り強さをバネに, 現状以上の復帰を可能とする仕組みが「レジリエンス」
- ・ 「持続可能性」と「創造性」の融合





近年の主な大規模災害

- 1986年 チェルノブイリ原発事故
- 1995年 阪神淡路大震災
- 2001年 9.11ニューヨーク同時テロ
- 2004年 スマトラ沖地震大津波
- 2005年 ハリケーン・カトリナ
(2012年 ハリケーン・サンディ,
2017年 ハリケーン・ハーヴィ、イルマ)
- 2011年 東日本大震災、タイ大洪水
- 2016年 熊本地震

地震活動期, 気候変動, 国際テロ続発

国における動き ＜強くて、しなやかな ニッポンへ＞

- 「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」制定(2013)→国土強靱化計画(ナショナル・レジリエンス・プラン)の制定
 - 強靱性＝「強くしなやか」⇔脆弱性
 - 強靱な国土, 経済社会システム
- 「国土や経済, 暮らしが, 災害や事故などにより致命的な被害を追わない強さと, 速やかに回復するしなやかさを持つこと」

ナショナル・レジリエンス懇談会

(2013年3月発足)

「過剰な市場原理の導入を避けつつ,
地域社会, 日本社会の「社会の力」をベースにし
ながら,
適切な規制, 適切な統治を重視し,
長期的, システム的なマクロな俯瞰的視点から,
日本の経済, 社会, 国土の「構造」そのものを,
「自律・分散・協調」型のものに作り上げ,
その上でそれを, 適切な統治(ガバナンス)の力
でもって「統治運用」する」

ロックフェラー財団の提唱による 「世界100のレジリエント・シティ」

- 世界レベルでの著しい「都市化」、「グローバル化」、「気候変動」等を踏まえ、財団創設100周年を記念してプロジェクトを立ち上げ。
- 「**レジリエンス戦略**」を備えた都市の国際的ネットワークを目指し、2013年～2015年の3ヶ年で、世界100都市を募集
- 世界から1000都市以上が応募し、日本では富山市と京都市が選定
- CRO (Chief Resilience Officer) が必置



これまでの経過

- 2013年 ロックフェラー財団による100RCプロジェクト発足
- 同年12月 第一期に対し募集(30都市を選定)
- 2014年12月 第二期募集(富山市を含む33都市を選定)
- 2015年11月 第三期募集に対し京都市も応募
- 2016年3月 第三期募集(京都市を含む37都市を選定)
- 10月 同プロジェクトのアジア太平洋事務所(シンガポール)メンバーによる市長訪問
- 2017年2月 京都市アジェンダ・セッティング・ワークショップ開催(市内約100団体が参加)
- 2017年4月 京都市チーフ・レジリエンス・オフィサー(CRO)選任
- 同 京都市レジリエンス推進本部発足・第1回会議開催
- 5月 100RCプロジェクト代表者出席のもと、キックオフ・ミーティング開催
- 10月 京都市レジリエンス推進本部第2回会議開催

首都27市をはじめとする主要都市

北米(ワシントンDC, ボストン, ニューヨーク, シカゴ, ロスアンゼルス, ピッツバーグ, ミネアポリス, アトランタ, シアトル, ナッシュビル, ホノルル, モントリオール, バンクーバーなど約30都市)

中米・南米(メキシコシティ, グアタラハラ, リオデジャネイロ, ブエノスアイレス, パナマ, サンチアゴなど)

ヨーロッパ(パリ, ロンドン, ローマ, アテネ, リスボン, ロッテルダム, バルセロナ, ミラノ, ベオグラードなど)

アジア, 大洋州(ソウル, シンガポール, バンコク, ジャカルタ, スラト, 徳陽, ダナン, マラッカ, シドニー, ウェリントンなど)

アフリカ(ケープタウン, ナイロビ, ダカール, アジスアベバ, ルクソール, アクラなど)

<世界歴史都市会議加盟都市・・・15都市>

<発展途上国からも多くの都市>

なぜ、都市のレジリエンスか？



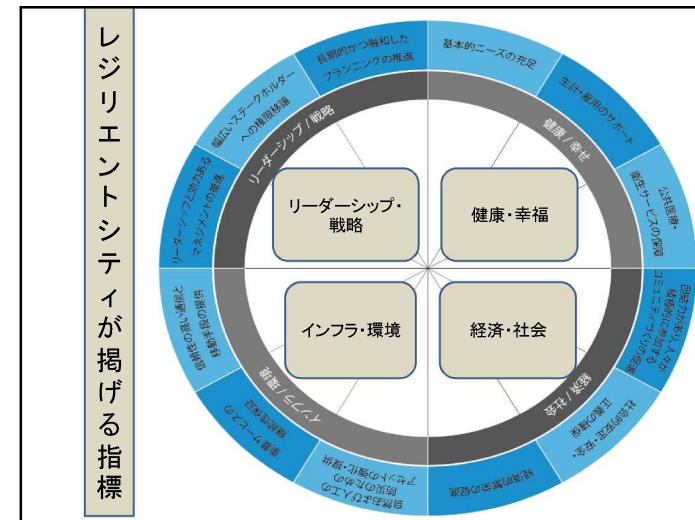
世界規模では、毎週140万人が、新たに都市領域へと移住(2030年には地球上の全人口の6割、2050年には7割が、僅かな面積しかない都市に居住)

- 肥大化し、複雑化する都市の機能と同時に、「利便性」と「脆弱性」を兼ね備えた都市の課題を直視
- 国家レベルの取組とは一線を画した適正規模でのモデルでの都市間交流に根ざした取組の推進

都市レジリエンスの構成要素

- 適応力 (Adaptive)
省察力 (Reflective)
- 頑強性 (Robust)
- 余剰性 (Redundant)
- 柔軟性 (Flexible)
- 統合力 (Integrated)
- 臨機応変力 (Resourceful)
- 包摂性 (Inclusive)

Arup社による定義



突発的なショック

地震
火事
洪水
土砂崩れ
有害物質の拡散事故
台風/暴風雨
テロ攻撃
伝染病の集団感染
暴動
インフラや建物の倒壊
熱波/猛暑
など

慢性的なストレス

人口減少
少子高齢化
地域のつながりの欠如
失業と非正規雇用
ホームレス/不法住居
気候変動
交通渋滞
貧困/経済格差
インフラの老朽化
経済動向の変化
犯罪と暴力
など

人口減少
少子高齢化
地域のつながりの欠如
失業と非正規雇用
ホームレス/不法住居
気候変動
交通渋滞
貧困/経済格差
インフラの老朽化
経済動向の変化
犯罪と暴力
など

＜1200年の繁栄は危機と再生の繰り返し＞

- 平安期をはじめとする震災の克服
- 応仁の乱, 天明の大火からの復興
- 明治維新の京都策・・・番組小学校, 琵琶湖疏水・水力発電, 建都1100年事業・時代祭

緊密な地域コミュニティ、祭礼や伝統文化、
まち衆の伝統への自負、産業の隆盛・・・

4

京都ならではの強みを生かす

地域
コミュニティ

ものづくり・
文化の伝統

教育・
子育て支援

環境・
まちの美化

宗教性・
精神文化

景観・
まちなみ保全

大学・先端科学

山紫水明・
生物多様性

生活に息づく「暮らしの美学」「生き方の哲学」

二つの東京オリ・パラの狭間での変化

1964年 → 2020年

高度経済成長
国民所得倍增政策

ベビーブーム・児童数激増
核家族化
カラーテレビ・自家用車・エアコン

東海道新幹線
大阪万博
日本列島改造論

縮小社会への突入
超高齢社会・
急激な人口減少

南海トラフ地震・
首都直下地震

AI機器の普及
文化庁の京都移転

既成概念からの脱却が不可欠

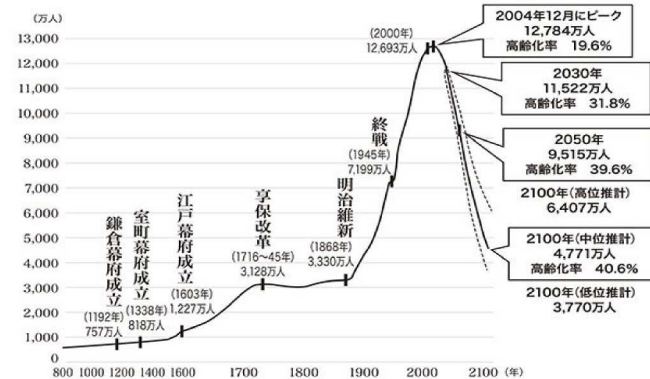
経済成長の継続⇒*経済成長至上主義の終焉*

工業化(産業化)社会の発展⇒*脱工業化の進展*

グローバル社会の進展⇒*発展途上国の著しい成長*

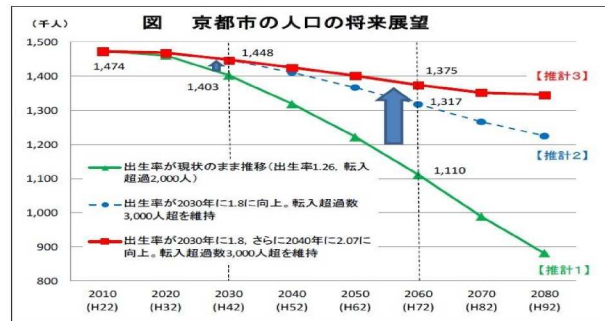
物質的豊かさ・利便性の優先⇒*縮小社会への突入*

迫りくる急激な人口減少を控えて

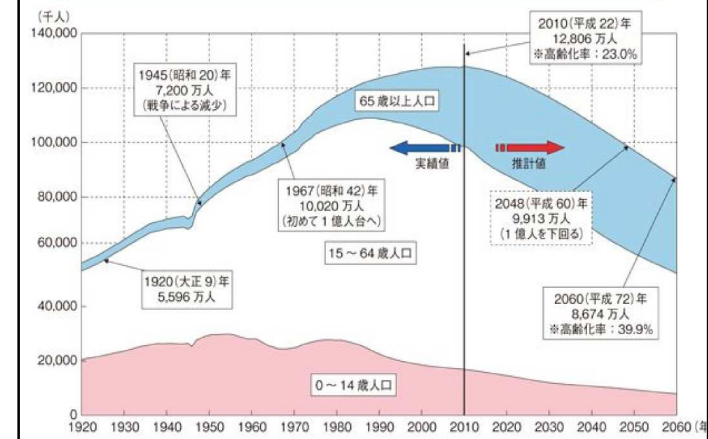


京都市の人口減少見通し

- 出生率が現状のままで推移すれば
2060年・・・111万人、2080年・・・90万人弱



高齢化率の上昇と少子化の同時進行



女性人口そのものが減少

